



消費者ら20人が参加したセミナー・意見交換会

◎ 乳の栄養と健康テーマにセミナー・ALIC  
農畜産業振興機構(ALIC)は18日、牛乳・乳製品の  
栄養と健康をテーマにセミナーと意見交換会を開いた。消  
費者など約20人が参加した。  
女子栄養大学の西一弘教授が「牛乳・乳製品の栄養と  
健康」と題し講演。牛乳はカルシウムの含有量が多く吸収  
率も高いとし、「日本人はカルシウムの摂取量が少ないの  
で、もつと多く摂取することが望ましい」と述べた。日本  
人の男女6500人を対象に牛乳・乳製品の摂取量と健康  
状態を調べた研究結果も紹介。▽女性は摂取量が多いほど  
腹囲や中性脂肪の数値が低く、善玉コレステロールの値が  
高い▽同じく男性は血圧が低い―などと報告した。「牛乳・  
乳製品は栄養補給だけでなく健康増進にも有用。牛乳を飲  
んで太るということもない。特に若い世代には学校給食な  
どで身近に摂取できる環境が必要だ」と強調した。  
意見交換会では、神奈川県茅ヶ崎市で酪農(搾乳牛約20  
頭)を営む柿澤美里さんが、地域の小学校などへの出張授  
業や酪農体験イベントの取り組みを紹介。「消費者に酪農  
を身近に感じてもらい、酪農業のすばらしさを伝えていき  
たい」と熱く語った。

牛乳の魅力発信するグラフィックデザイナーのミル  
クマイスター®高砂さんは、自身が発行している「ミルク  
新聞」について「酪農家に直接取  
材し話を聞くことで、牛乳のおい  
しさが増していくように感じる。  
これからも牛乳の魅力を伝えて  
いきたい」と力を込めた。

日本消費生活アドバイザー・コ  
ンサルタント・相談員協会の大道  
不二子顧問は、消費生活センタ  
ーには牛乳・乳製品についても多  
くの声が寄せられるとして、生産現  
場や食品事業者に対し「情報過多  
で消費者は困惑している。ネット  
情報だけでなく、正確な情報を得  
られるよう、開かれた問い合わせ  
窓口を設置するなどしてほしい」と  
求めた。